

なことでアジア各国ともめる国が国連の常任理事国ってのはいかならんかと思っし、パクリ常習犯でしねー。盗んで当然！というお国柄なんでしょう。おっと脱線しすぎた。オーナーコメントの「どうしようもないシヨップ」ってのが気になりますねー。編集部に連絡すると聞けるようになってる…とか？自分の店で販売したモノに責任を持たないシヨップは存在しちやいけませんね。ポッターリ店じゃないですか！本当にオーナーからの信頼の厚いシヨップリストとか、そういった情報は必要ですから、いつか特集して欲しいですね。ネットだと誰でも無責任に書き込めるから信用できないですね。その点雑誌は信用できる。

（静岡県／ヒーくん）

■人が何と言おうと、自分にあつたシヨップというのが絶対にあるんです。これ間違いない。

値段もスゴイが維持もスゴイ

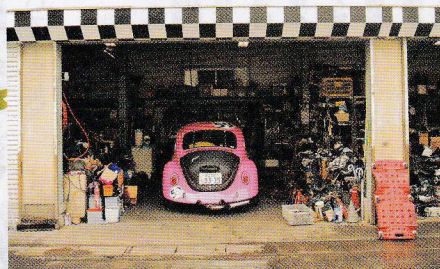
●1000万円フェラーリ維持話、古いとはいえずがフェラーリ様。教訓としてはあまり安い個体は買わない。余分にお金を確保しておく、ということでしょうか。フェラーリの維持というだけで、その情熱には頭が下がります。Tスー研、こういうゆつたりした試乗記もいい。964リフレッシュ、今後の展開を楽しみにしています。国産車だとレストアする人はあまりいません。ポルシェだからいいんだと思います。365BBの次はポルシェって、あまりにもベタな気もしますが…。ニューカー対談とオフロードがなくなつたのが寂しい。（愛知県／Nちゃん）

■復活させる企画、ただいま検討中。フェラーリのために節約を決定

文●半谷範一 撮影●森口信之

取材協力●ベストインポートサービス(BIS)

tel:048-282-6119 http://www.vw-bis.co.jp



F-ROAD SUPER-BEETLE PROJECT

Vol.25

ピンビープロジェクト・サードシーズン

F-ROAD SUPER-BEETLE PROJECT 3rd SEASON

チューニング・エンジンからノーマルエンジンに載せ替え 前編



BISのストックヤードから運び込まれた1302。なんと20年間放置されていたエンジンをピンビーに積むのだ。いくらビートルとはいえ、おいそれとエンジンがかかるとは思えないのだが…。果たして!?

皆さんもご存じの通り、このピンビーには2007ccの耐久レース用チューニング・エンジンが搭載されています。まあカムのプロフィールはそんなに過激じゃないし、圧縮比だって無闇に上げていくわけじゃないんで、ある程度チューニングカーに乗り馴れたような人だったら街乗りだって使えないことはないんですけど、やっぱり本来はレース用のエンジンなんで色々気は使うし、燃費だって超極悪です。

さらにこのエンジン、作ったのはすでに今からもう4年も前のこと。それ以来一度も降ろさないうでレースで酷使し続けてきたこともあってか、最近では頻りに色々なトラブルが発生するようになってきました。現状ではパンパンとアフターファイアも激しいので、さすがにこれを普段の足として乗り回すのは辛いなあ…。というわけで、一度このエンジンを降ろして、再整備を行なうことにしました。

でもこのピンビーはQ編集長の普段の足でもあるんで、その間、まったく動かさなくなってしまうのは色々困ります。そこで、とりあえずは何か適当なノーマルのエンジンに載せ替えようということになりました。

今回のドナーに選ばれたのは、BISのストックヤードに置いてあった1302。まだ'S'が付かない頃のモデルなんで、排気量はたったの1300ccしかありません。おまけにこのクルマ、なんと20年もの間ずっと放置されていたという個体。確かにビートルは寒冷なんで放置にはかなり強いんですけど、普通のエンジンならとつとつに死んでるはず(笑)。果たしてこのエンジン、本当に復活させることができるのでしょうか？

● 会社員でも日々の生活で節約すればフェラーリを買えると思った。維持費が掲載されている雑誌はなかなかないので、今回即買いしてしまっただけ。頭の中でイメージが膨らみ、明日からの節約に活かしたいと決意しました。

(山梨県/フェラーリイトウ)

■ お金の話は一番つかいにくいですからね。夢のスーパーカーを現実の世界に戻すって企画だから。でも現実が分かってもフェラーリの偉大さは変わらない。

維持話は参考になりました

● フェラーリのオーナーになるための具体的な金額が分かり、いつかはオーナーになるためにお金を貯めようと思いましたが、個人的にはF355か456GTをいつか所有したいと思っています。できれば456GTオーナーさんの話も聞きたかったです。また、シンガー・ポルシェの記事も良かった。あらためてナローのカッコよさが分かりました。

(神奈川県/クペマニア)

■ 456GT、いいよね。あのスタイルが好きなら、超お薦めです。

興味ある表紙の時は買ってます

● 夫婦でスーパーカーが好きで、本気で購入を考えていますので参考にあります。特集トビラ、19ページに書いてあった文、とても心に響きました。凄く良かったです。オーナーたちに聞くコーナーで、F355か360モデナが欲しいと思っているので、ナマの声が聞けて本当に良かったです。特に、360モデナはエンジンを降ろさずにタイプル交換が出来ることなど知らなかったもので、とても勉強になりました。それと、保険の話も具体的に分かりやすく、これも参考になりました。やっぱり実際に乗っている人の話は面白いので



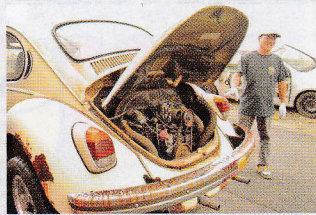
これが今回のドナーカーである1302。なんと20年も放置された車両ということで、室内には1990年の新聞! がそのまま残っていました。本当にこれを使うんですか?



もちろんキャリアカーには皆で押して積み込みます。「このエンジンをピンビーに載せ替えるより、このクルマをそのまま直した方がいいな」。でも、床が抜けて地面が見えますよ。



ところが、工場に運び込んでよく見たら、エンジンには変な社外のパーツとか使っていないし、なかなか素性は良さそうです。これ、何だかこのまま掛かりそうだな。ちょっと試してみよう。



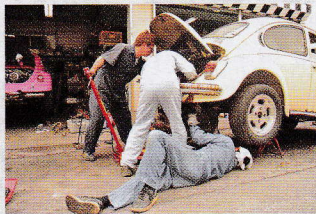
エアクリナー外してフロントに燃料を直接入れ、バッテリーをつないでセルを回したところ...。あっけなく始動! そのまま白煙も吹かずに静かにアイドリングしています。さすがビートル、20年の放置に耐えるとは!



このエンジンをどうするのか相談中。基本はこのままだけど、やっぱりダイナモだけはオルタネータに交換しておくことにしよう。



はい、あっという間に降りました。古いクルマの場合、オイルでデロデロというのが珍しくないのですが、このクルマの場合はかなりドライな印象です。これはラッキーですね。



後側のエンジンチンを外して、配線や燃料ホースやアクセルワイヤーを外せば準備完了。一人で降ろすことも可能ですが、今回は人が沢山いるので作業は楽ですね。



てなわけで、このエンジンをそのまま載せ替えることにしました。ビートルのエンジンは馬とジャッキだけで簡単に降ろせます。エンジンは4本のボルトでトランスアクスルに固定されているだけ。



濡れちゃまずいところだけをカバーして、スチームで洗浄することにしました。ホコリは被っていたものの、気になるようなオイル漏れは見当りません。素晴らしい!



ダイナモは外してオルタネータに交換。やっぱり今は色々電気を使うことがあるかも知れませんが、オルタネータはピンビーから外したヤツを使うことにしました。



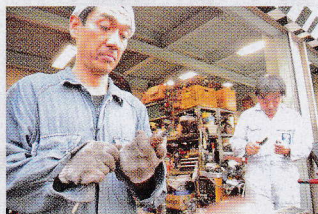
せっかくなのでクラッチディスクは交換することにしました。カバーを開けてみたら、もうすぐベットの頭が出ちゃいそうな状態でした。



さすがに20年放置の結果、フライホイール側とカバー側には錆が発生していたので、ペーパー掛けをしておきます。でも貼り付いていないのはさすがです。



洗って...の積み重ね。でもビートルは単純だしパーツも軽いので助かります。さて、来月はエンジンを載せるところまで行けるかな?



古いクルマの整備は、ひたすら磨いて...



もちろんクラッチ・ディスクは新品を使用します。1300は1600よりもパワーがないので、クラッチディスクもこんなに小さなヤツを使います。



あ〜書き忘れてましたけど(笑)、同時進行でピンビーのエンジンも降ろしてきました。こうやってみると、排気量の差なんか分かりません。ピンビーはツインキャブなんで、作業もその分だけ面倒かな。

次号へ続く